

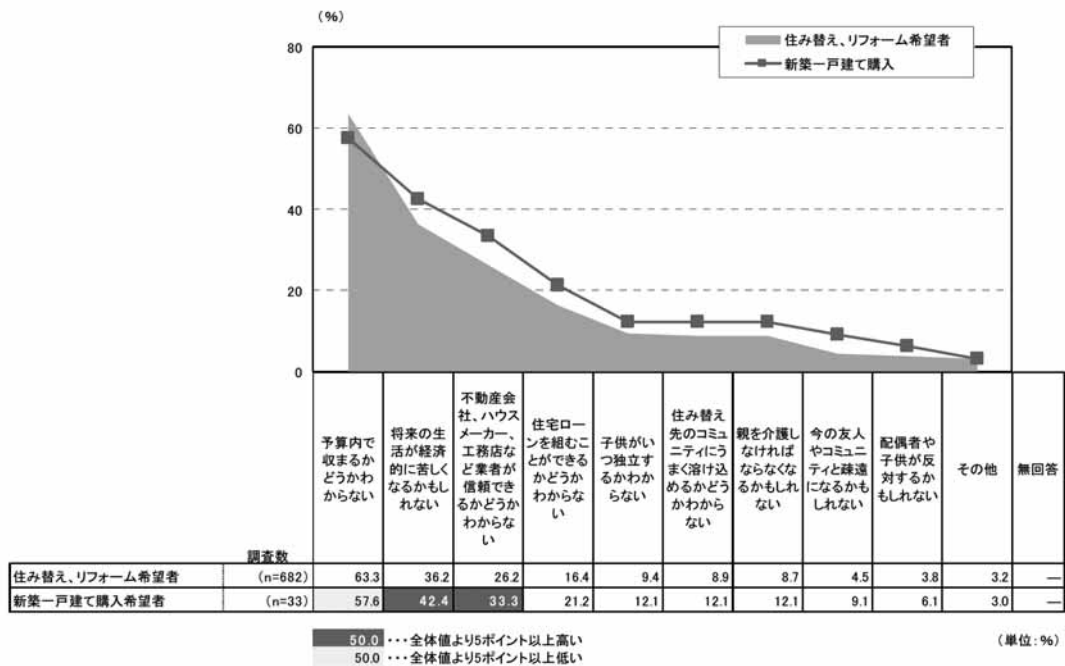
4 情報ニーズ

予算と購入後の生活への不安が強い

新築一戸建て購入希望者の不安要素をみると、「予算内で収まるかどうか分からない」が58%と最も高く、以下「将来の生活が経済的に苦しくなるかもしれない」42%、「不動産会社、ハウスメーカー、工務店などの業者が信頼できるかどうか分からない」33%、「住宅ローンを組むことができるかどうか分からない」21%などとなっている。

やはり、当初の予算やローンの問題、購入後のローン返済を含めた生活面への不安が大きいようである。合わせて、業者に関する信頼度の確認についても重要な要素となっている。先の新築マンション購入希望者ではこの点を不安として挙げる人は23%だったから、一戸建てならではの不安要素ともいえよう。

不安要素（住み替え・リフォーム希望者／複数回答）

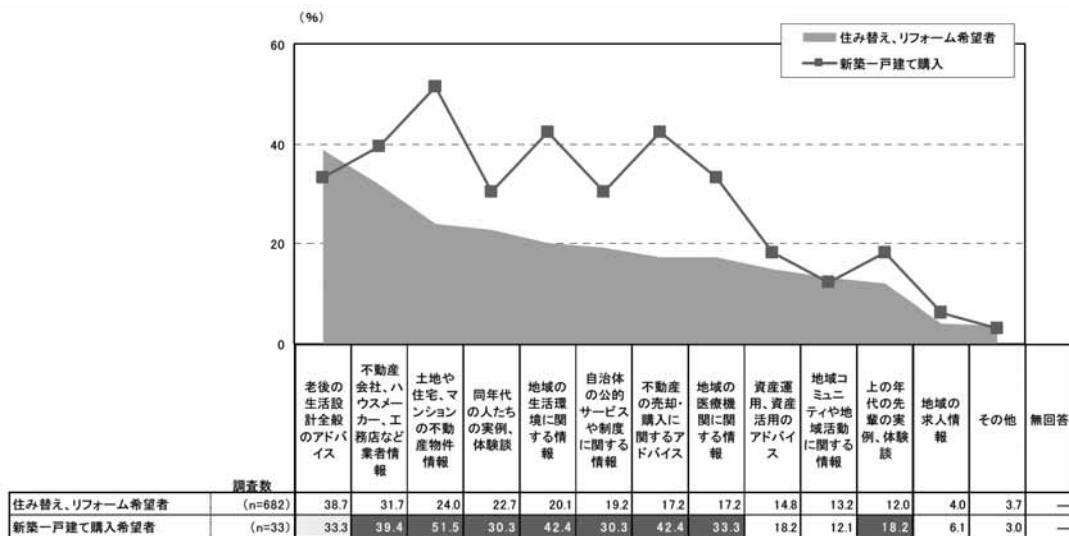


購入、売却双方の情報を求めている

では、新築一戸建て購入希望者はどのような情報を求めているのだろうか。

トップは「土地や住宅、マンションの不動産物件情報」の52%で、以下、「地域の生活環境に関する情報」「不動産の売却・購入に関するアドバイス」「不動産会社、ハウスメーカー、工務店など業者情報」などが続いている。購入や売却に関する具体的な情報、実務的なアドバイスが最重要視されている。それに加えて、上記の不安要素として挙がっている業者に関する情報も強く求めている。

必要な情報（住み替え・リフォーム希望者／複数回答）



50.0 ……全体値より5ポイント以上高い  
50.0 ……全体値より5ポイント以上低い

(単位:%)

### 各種メディアを駆使して情報収集

新築一戸建て購入希望者の情報収集方法をみると、多くの項目において、住み替え・リフォーム希望者全体の数値より5ポイント以上高くなっている。「インターネットの不動産情報サイト」「不動産会社、ハウスメーカー、工務店などの業者のホームページ」「住宅情報誌」「不動産会社、ハウスメーカー、工務店などの業者の営業マンから直接」のような専門的な情報源だけでなく、「新聞記事」や「テレビ」など、一般的なマスメディアを重視する傾向が強いのが、新築一戸建て購入希望者の特徴という見方ができそうである。

情報収集方法（住み替え・リフォーム希望者／複数回答）

